

# あいなりのひなまつり

空から降るものが雪から雨に変わり氷が解けて水になると言われる二十四節気の「雨水」は、昔からひな人形を飾る時季とされています。

かつて家庭で飾られていたさまざまな内裏びな、吊るしびなのほか、今年は姫路市安富町の「奥播磨かかしの里」からも「かかしのおひなさま」がやって来ました。

茅葺古民家「白拍子（しらべし）の家」で、皆さまのお越しをお待ちしています。

あいな里山公園内各所には、開園の年からかかしの里生まれのかかしがいます。かかしのおひなさまと園内のかかし達も久々の再会を楽しんでいるようです（ひな飾りは3月末まで）。

※当園はR6.2月より毎週水曜休園（祝日の場合は翌日）となりました。

